

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年7月12日 (2012.7.12)

【公開番号】特開2011-125723(P2011-125723A)

【公開日】平成23年6月30日 (2011.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2011-026

【出願番号】特願2010-283911(P2010-283911)

【国際特許分類】

A 6 3 B 53/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 53/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月29日 (2012.5.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

3500 mm^2 より大きな前面表面領域を具備する打撃フェースと、
クラウン部分およびソール部分を有する後方本体部分であって、上記クラウン部分は上記打撃フェースの上方部分に結合され、上記ソール部分は上記打撃フェースの下方部分に結合される、上記後方本体部分と、

上記打撃フェースの周囲を少なくとも部分的に包囲し、上記打撃フェースを上記後方本体部分に結合する、傾斜付けられた遷移部分とを有し、

上記打撃フェースは、当該ゴルフクラブヘッドにより実現できる最高ボール速度の少なくとも 99.7% を伴う上記前面表面領域の領域として定義されるスイートスポットであって、上記打撃フェースの上記前面表面領域の 1.5% を超える部分を包含する、上記スイートスポットを有する、ゴルフクラブヘッド。

【請求項 2】

3500 mm^2 より大きな前面表面領域を具備する打撃フェースと、
クラウン部分およびソール部分を有する後方本体部分とを有し、

上記クラウン部分は上記打撃フェースの上方部分に結合され、上記ソール部分は上記打撃フェースの下方部分に結合され、かつ、

上記打撃フェースの上記前面表面領域は、さらに、

上記打撃フェースの上記前面表面領域を横切ってほぼ水平方向にヒール部分からトゥ部分へと広がるバルジラジアスと、

上記打撃フェースの上記前面表面領域を横切ってほぼ垂直方向にクラウン部分からソール部分へと広がるロールラジアスとを有し、

上記バルジラジアスは高トゥから低ヒールの方向に傾斜し、かつ、

上記ロールラジアスは高等から低ヒールの方向に傾斜するゴルフクラブヘッド。

【請求項 3】

3500 mm^2 より大きな前面表面領域を具備する打撃フェースと、

クラウン部分およびソール部分を有する後方本体部分であって、上記クラウン部分は上記打撃フェースの上方部分に結合され、上記ソール部分は上記打撃フェースの下方部分に結合される、上記後方本体部分と、

上記打撃フェースの周囲を少なくとも部分的に包囲し、上記打撃フェースを上記後方本

体部分に結合する、傾斜付けられた遷移部分とを有し、

上記打撃フェースは、楕円ファクタが0.50より大きい楕円形状であり、

上記楕円ファクタは、上記打撃フェースの短軸を上記打撃フェースの長軸で割ったものとして定義される、ゴルフクラブヘッド。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

以上は、この発明の例示の実施例に関するものであり、以下の特許請求の範囲で示される発明の範囲および程度を逸脱することなく修正を行えることはもちろんであることに留意されたい。

以下、この発明の技術的特徴を列挙する。

[技術的特徴1]

3500mm²より大きな前面表面領域を具備する打撃フェースと、

クラウン部分およびソール部分を有する後方本体部分であって、上記クラウン部分は上記打撃フェースの上方部分に結合され、上記ソール部分は上記打撃フェースの下方部分に結合される、上記後方本体部分と、

上記打撃フェースの周囲を少なくとも部分的に包囲し、上記打撃フェースを上記後方本体部分に結合する、傾斜付けられた遷移部分とを有し、

上記打撃フェースは、当該ゴルフクラブヘッドにより実現できる最高ボール速度の少なくとも99.7%を伴う上記前面表面領域の領域として定義されるスイートスポットであって、上記打撃フェースの上記前面表面領域の1.5%を超える部分を包含する、上記スイートスポットを有する、ゴルフクラブヘッド。

[技術的特徴2]

上記スイートスポットは上記打撃フェースの幾何中心と同心である技術的特徴1記載のゴルフクラブヘッド。

[技術的特徴3]

上記スイートスポットの面積は75.00mm²より大きい技術的特徴1記載のゴルフクラブヘッド。

[技術的特徴4]

上記打撃フェースは、楕円ファクタが0.50より大きい楕円形状であり、

上記楕円ファクタは、上記打撃フェースの短軸を上記打撃フェースの長軸で割ったものとして定義される技術的特徴3記載のゴルフクラブヘッド。

[技術的特徴5]

上記長軸および上記短軸は高トウから低ヒールへの方に傾く技術的特徴4記載のゴルフクラブヘッド。

[技術的特徴6]

3500mm²より大きな前面表面領域を具備する打撃フェースと、

クラウン部分およびソール部分を有する後方本体部分とを有し、

上記クラウン部分は上記打撃フェースの上方部分に結合され、上記ソール部分は上記打撃フェースの下方部分に結合され、かつ、

上記打撃フェースの上記前面表面領域は、さらに、

上記打撃フェースの上記前面表面領域を横切ってほぼ水平方向にヒール部分からトウ部分へと広がるバルジラジアスと、

上記打撃フェースの上記前面表面領域を横切ってほぼ垂直方向にクラウン部分からソール部分へと広がるロールラジアスとを有し、

上記バルジラジアスは高トウから低ヒールの方向に傾斜し、かつ、

上記ロールラジアスは高等から低ヒールの方向に傾斜するゴルフクラブヘッド。

[技術的特徴 7]

上記バルジラジラスおよび上記ロールラジラスの傾斜角度は 1 度から 16 度の間である技術的特徴 6 記載のゴルフクラブヘッド。

[技術的特徴 8]

上記バルジラジラスおよび上記ロールラジラスの傾斜角度は 1 度から 8 度の間である技術的特徴 6 記載のゴルフクラブヘッド。

[技術的特徴 9]

上記打撃フェースの周囲を少なくとも部分的に包囲し、上記打撃フェースを上記後方本体部分に結合する、傾斜付けられた遷移部分をさらに有し、上記傾斜付けられた遷移部分は、上記ゴルフクラブヘッドの全表面面積のうちの高々 3.0 % を構成する技術的特徴 7 記載のゴルフクラブヘッド。

[技術的特徴 10]

上記傾斜付けられた遷移部分は 850 mm^2 より小さい技術的特徴 9 記載のゴルフクラブヘッド。

[技術的特徴 11]

3500 mm^2 より大きな前面表面領域を具備する打撃フェースと、クラウン部分およびソール部分を有する後方本体部分であって、上記クラウン部分は上記打撃フェースの上方部分に結合され、上記ソール部分は上記打撃フェースの下方部分に結合される、上記後方本体部分と、

上記打撃フェースの周囲を少なくとも部分的に包囲し、上記打撃フェースを上記後方本体部分に結合する、傾斜付けられた遷移部分とを有し、

上記打撃フェースは、楕円ファクタが 0.50 より大きい楕円形状であり、

上記楕円ファクタは、上記打撃フェースの短軸を上記打撃フェースの長軸で割ったものとして定義される、ゴルフクラブヘッド。

[技術的特徴 12]

上記長軸および上記短軸は高トウから低ヒールへの方に傾く技術的特徴 11 記載のゴルフクラブヘッド。

[技術的特徴 13]

上記長軸および上記短軸の傾斜は、3 度より大きく、16 度より小さい技術的特徴 12 記載のゴルフクラブヘッド。

[技術的特徴 14]

上記打撃フェースは可変厚さを伴い、上記可変厚さは、さらに、

厚い中央部分と、

遷移部分と、

薄い周囲部分とを有し、

上記遷移部分は上記厚い中央部分を包囲し、

上記薄い周囲部分は上記遷移部分を包囲し、

上記厚い中央部分の上記遷移部分の内部への配置は、上記ゴルフクラブヘッドのソール方向にバイアスされている技術的特徴 11 記載のゴルフクラブヘッド。